



室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校
令和3年 7月号
校長 下反達二

学校教育目標「豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成」

「ICT」

表題の「ICT」は、「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指す言葉です。今年度4月に子どもたち一人ひとりにタブレット端末が配備されました。それから3カ月。各教室ではタブレット端末を活用した学習がここから始まっています。昨日、教室を回りましたら、あるクラスでは図工の造形作品をお気に入りの場所において、タブレット端末で撮影・録画していました。先生に聞くと、「こうすることで、子どもたちが見せたい角度や作品を置いてみたい場所が、みんなで共有できるんです。」とのことでした。また別のクラスでは、社会科の課題解決の学習場面で、ある子は教科書や資料集で、ある子はタブレット端末を使い、自由に教室を動き、友達と協働しながら課題の解決に取り組んでいました。家庭科の授業では、端末を手元に置き、玉止めや玉結びの動画を見ながら、各個人が自分のペースに合わせて、実技の学習を進めていました。また、低学年のクラスでは、端末上でお絵描きをして、それを先生に送信すると、みんなの作品がいっぺんに大型ビジョンに写し出されていました。子ども一人ひとりの小さな気づきをみとり、学習を個別最適化していくツールとして今後ICT活用の重要性は高まっていくことは間違いのないと思います。室田小の各教室では、ゆるゆると、ICT機器でこそできる多様な形での授業が繰り広げられています。試行錯誤をしながら、果敢にICTを活用する先生方の姿に、また、新しい道具をいとも簡単に使いこなしている子どもたちの姿にいつも感心させられております。



今の子どもたちが、社会で活躍するであろう10年後、20年後はどのようなになっているのでしょうか。いろいろなところで様々な予測が出ておりますが、現在の延長線上にある未来ですので、びっくりするほど変わっているとは思えませんが、変化の度合いは増し、複雑で予測困難となっていくのでしょうか。子どもたちは、この変化を前向きに受け止め、自分の人生、生活を、あらゆる感性を働かせてより豊かなものにし、自ら新しい価値を創り出していくことができるようになってほしいと思っています。本校では、様々な機会を通して本物に触れ、あらゆる感覚を総動員して体験する機会を充実させるとともに、教育目標実現のための手段としてICTの活用にも努めていきたいと思っています。

<赤羽根の畑にて>

室田小学区にお住まいの安齋さんからの声かけや城田さん、五反田さんのご協力をいただき、松の実教室と3年生の子どもたちが大豆の種植えをさせていただきました。

安齋さんに種の撒き方をご指導いただき、さあ始めようと思ったとたんに雨が降ってきて、少しあわただしかったです。無事撒き終えることができました。(なお、この畑には松の実教室と2年生のサツマイモも植えさせていただきます。) 今後は定期的に畑に行き、手入れや観察をしていきます。今から収穫がとても楽しみです。ご指導いただいた地域の皆様ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

